

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！8月末時点で、第1期生1名、第2期生2名が海外留学中です！

## 知事感謝状を贈呈しました（日糧製パン株式会社様、株式会社丸升増田本店様）

日糧製パン(株)様には、平成30年4月1日から6月30日までの期間、同社の主力商品「ラブラブサンド」の販売1個につき1円を、当基金に寄附する取組を実施していただきました。

ラブラブサンドは上記期間中に約149万個販売され、8月6日に代表取締役副社長の染谷様から寄附目録をいただき、道からは知事感謝状を贈呈いたしました。

また、今年で創業100周年を迎えた(株)丸升増田本店様からは、当基金のほか北海道150年事業などにご寄附をいただき、8月27日に開催された100周年記念祝賀会のなかで、知事感謝状を贈呈いたしました。



日糧製パン(株)様

(株)丸升増田本店様

## グローバル人材育成キャンプで講演しました（第1期生 畠山さん、中川さん）

8月6日から3日間、北海道教育委員会主催による「北海道グローバル人材育成キャンプ」が札幌市で開催され、みらチャレ第1期生の畠山陸さんや、当基金の応援パートナーである第一生命保険株式会社様にご協力をいただきました。

このキャンプは、オールイングリッシュで課題解決型や発信型の活動に取り組むことにより、地球規模の視野と地域の視点を併せもった北海道のグローバル化を担う人材の育成を目的として、全道4地域で開催されています。

第一生命の天野副部長様からは、約30名の高校生たちに、ご自身のイギリスでの仕事内容や体験などのお話のほか、グループワークを行っていただきました。第1期生の畠山陸さんからは、ベトナムでの海外留学体験の講演のほか、「将来、何になりたいか、何をしたいか」という質問を投げかけ、グループワークを行いました。

また、7月、森町で開催されたキャンプには、第1期生の中川峻貴さんにご協力いただき、高校生たちに海外留学の体験を講演し、次に続く道内の若者たちに海外挑戦での体験や学びの大切さを伝えました。



第1期生 畠山陸さん



第1期生 中川峻貴さん

## 研修成果を発表しました（第1期生 古里さん）

7月3日、第1期生の古里裕之さんが所属する公益社団法人全日本司厨士協会札幌支部などの主催で、「未来の匠フランス研修を終えて」が開催されました。

主催者の全日本司厨士協会や、当基金の応援パートナーズリーダーの株式会社すし善 嶋宮代表取締役の挨拶の後、古里さんがフランス研修で学んだ「酸」や「色の力」などを生かして、実際に調理をしながら、研修先レストランで学んだフランス料理の特徴などを若い料理人達に伝えました。

そして、フランス研修にあたりご支援をいただいた多くの皆様に、心からの感謝を述べていました。

今後は、今年10月に札幌市民交流プラザに開店する株式会社アトリエモリヒコのレストランでシェフとして勤務し、フランスで磨いた腕を振るう予定です。



パートナーズリーダー - 嶋宮勤様



第1期生 古里裕之さん



## 応援パートナーの声（岩田地崎建設株式会社様）



目標に向かって海外で新しい事に挑戦し取り組むことは、様々な価値観に出会い、自分自身大きな成長を遂げる経験になります。自分自身の価値観が多ければ多いほど、人生は華やかになり豊かになります。

留学後は、海外経験で得た幅広い視野で、次々に変化しグローバル化する社会に対応し、世界との架け橋となってこれからの北海道を担い活躍されることを期待しています。

# スポーツコース

## 第2期生 梅村 拓未さん ドイツ (ハイデルベルク)

～バルシューレを学び、子どもの運動課題を解決～

バルシューレの創設元ハイデルベルク大学で、7月から11か月間研修中。

7月27日にドイツに到着しました。まず、受け入れ先の代表者であるクラウス・ロート博士と面会し、交流をさせていただきました。

博士はバルシューレの生みの親であり、現在も、子どもの運動・スポーツに関する研究を進められている第一人者です。ドイツで研究されてきた、子どもと運動・スポーツについての見識を学ぶことは、現在の北海道の子どもの体力、運動能力不足を解決する上で重要な足がかりになると考えています。



# 文化芸術コース

## 第2期生 鴻野 祐さん フィンランド (エスポーほか)

～「木」を深く学び、デザイナーとしてまちづくりに貢献～

森林環境が北海道と似たフィンランドで、7月から1年間、現地リサーチとアアルト大学のウッドプログラムを受講。

現在滞在しているユヴァスキュラは、世界的に有名な建築家のアルヴァ・アアルトの出身地であり、彼の設計した多くの建築物が町中にあります。

アルヴァ・アアルトは家具のデザインなども行っており、アアルト美術館ではその制作方法などを知ることができ、家具デザイナーとして学ぶべきものがたくさんありました。



## 第1期生 山あずささん ニュージーランド (ハミルトン)

～本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献～

ラグビーの本場ニュージーランドの強豪クラブで、昨年11月から1年間、自らプレーしながらコーチングを修得中。

クラブラグビーの15人制シーズンで、所属するチームは決勝まで勝ち進みましたが負けてしまい、私達は2位でシーズンを終わりました。

これからはワイカト州の15人制シーズンが始まります。今はワイカトアカデミーの練習やトレーニングにも参加させていただいているので、引き続きたくさんの方の事を学びたいと思います。



## 第1期生 齊藤 雄大さん アメリカ (アラバマ州ほか)

～先進地に学び、道内に障がい者スポーツの拠点を～

障がい者スポーツ先進国アメリカでの1年間の研修を終え、8月16日に帰国。

Lakeshore FoundationはActivity(身体活動)、Research(研究)、Advocacy(支援)という3つのテーマで運営されており、私が参加しているのはActivityの分野ですが、研究や支援の分野のオリエンテーションにも、参加させていただきました。

今月でLakeshore Foundationでのインターンシップが終了したので、お世話になった宿泊施設を掃除して、次のインターン生にバトンタッチです。



## 応援パートナーの皆様

(平成30年8月現在・敬称略)


有末 真哉 遠藤 光二 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹  
その他匿名希望の個人・企業4者

## 古本募金による寄附を受け付けています。



応援パートナー「NORTH CREATE」様のご協力により、ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附され、若者の支援に繋がる「古本募金ハピぼん」の取組を行っています。

個人での参加はもちろん、企業単位での参加も可能ですので、ハピぼんホームページをご覧ください。基金事務局までご一報ください。(これまでの寄附 499人の方から4,152冊)

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



助成対象者のチャレンジ風景をお届けします。

